

第 43 回 歴史リレー講座「大和鉄道沿線の文化遺産」 千田 稔氏 (H30.4.15)

今年、近鉄田原本線（西田原本～黒田～但馬～箸尾～池部～佐味田川～大輪田～新王寺）は開業 100 周年を迎えます。同線は大正 7 年に大和鉄道として開業、信貴生駒電鉄（現在の近鉄）に併合される昭和 36 年まで住民から「やまてつ」と呼ばれ親しまれていました。一地方といえども、鉄道敷設に必要な財力やエネルギーを当時の沿線地域が備えていたことに感動を覚えます。今ものんびり走る列車から望む景色は抜群。沿線に数多く残る古墳や文化遺産を紹介しましょう。

西田原本駅東の浄照寺（1651 年）はのちに陣屋として発展しました。浄照寺南に鎮座する津島神社の由来は江戸時代の領主平野家の出身地、尾張国津島です。うぶすなの神であり祇園社とも呼ばれていたため、毎年夏に祇園祭が催され町の活性化に一役買っています。駅北方、唐古鍵遺跡近くの鏡作神社は文字通り鏡を作った神社で、ご神体は三角縁神獣鏡です。この周辺で銅鐸を作っていた人たちが鏡作りを始め、やがて天照信仰が発生しました。ちなみに、天照大御神を祀る伊勢神宮のご神体も鏡といわれています。

黒田駅北の伴堂東遺跡（3 世紀後半～4 世紀半ば）の土坑からは吉備系、東海系、北陸系、河内系などの土器が出土しています。邪馬台国の都があったとされる纏向遺跡によく似た出土構成です。駅の北を南北斜めに走る道は聖徳太子が飛鳥と斑鳩を行き来した太子道の一部で、三宅町と安堵町と田原本町の一部にしか現存しません。太子道のすぐ西側に並行して細い道が走っていますが、実はこれらふたつの道幅を合わせたものが当時の太子道の幅です。そして、駅南西の三宅古墳群（5 世紀後半）最大の古墳が黒田大塚古墳。黒田には欠史八代のひとり、孝靈天皇の宮があったと『記紀』に記されています。

但馬駅北部には、かつて大和鉄道唱歌にも歌われた島の山古墳（4 世紀末）があります。その西に鎮座する比賣久波神社のご神体は桑の葉です。同古墳の東には糸井神社（祭神は綾羽明神、呉羽明神）もあるので、この地域は当時、糸や織物など繊維関係の技術者だった渡来系の人々で賑わったものと思われます。

箸尾駅南西にある馬見丘陵公園が馬見古墳群（4 世紀末～6 世紀）にあたります。点在する大小さまざまな古墳の中心が栗山古墳です。ただ、それぞれの古墳の向きがバラバラな理由は今もって解明されていません。舒明天皇の建立と伝承されるのが広陵町役場近くの百済寺。舒明天皇は百済川をはさんで西に百済大寺を、東に百済大宮を造った（『日本書紀』）ので、この百済寺が百済大寺に相当すると以前から推定されていました。しかし、のちに桜井市の吉備池廃寺から舒明天皇時代の立派な寺跡が発見されたため、同地こそが百済大寺だと研究者の見識が一変。ところが、百済大宮のほうは未発見ですし、「大安寺伽藍縁起」を繙けば、むしろ百済川を現代の曽我川に当てはめ、周辺の材木で百済大寺を造ったという解釈が地理的には自然なのです。当初は広陵の百済寺が百済大寺であったものの、何らかの事情で桜井に移されたというのが実情ではないのでしょうか。これらの疑問に対する答は将来、百済大宮が発見されたときに明らかになるはずです。

佐味田川駅南の佐味田宝塚古墳（4 世紀末～5 世紀初頭）からは銅鏡や三角縁神獣鏡が多数見つかっています。同じ系統の三角縁神獣鏡は中国でほぼ未出土であることから、私はこれらの鏡は地方豪族へ卑弥呼から与えられたものとする説があります。中には魏の時代の年号が刻印されている物もあるのです。いずれにせよ鏡は魏の時代と無関係ではなく、邪馬台国はやはり大和に存在したと考えられます。さらに、同古墳からは豪族の住居や神殿などの紋様が施された家屋文鏡も出土しており、研究に役立っています。

新王寺駅の南にある達磨寺（7 世紀前半）は聖徳太子の片岡山飢人伝承（『日本書紀』）で有名。そのすぐ西の放光寺はかつて片岡僧寺または片岡王寺とも称されました。敏達天皇系の王族によって建立され、王寺という地名の起こりともいわれます。また、砂かけ祭りで知られる河合町の広瀬神社は「水の神様」を祀ります。三郷町の龍田大社が「風の神様」を祀るので両社はよく対比されます。このように、田原本線沿線は古代遺跡が数多く残る貴重な地域です。日本史を学ぶためにこれほど最適な路線は他にないでしょう。



大和鉄道沿線の文化 遺産

千田 稔



ご覧になりたい駅を選んでください。

田原本線

普通



大和鉄道の歴史

明治43年12月23日 田原本鉄道(株)発起(事務所は町役場内)

明治45年7月14日 田原本鉄道(株)創立(総会会場は浄照寺)

大正6年1月23日 大和鉄道(株)と社名を変更

大正7年4月26日 新王寺・田原本間開業

(軌間国有鉄道と同じ1蒸気機関車牽引)

大正11年9月 3日 田原本・味間間開業

昭和3年5月 1日 桜井町・桜井間開業

7月15日 気動車購入蒸気機関車と併用使用

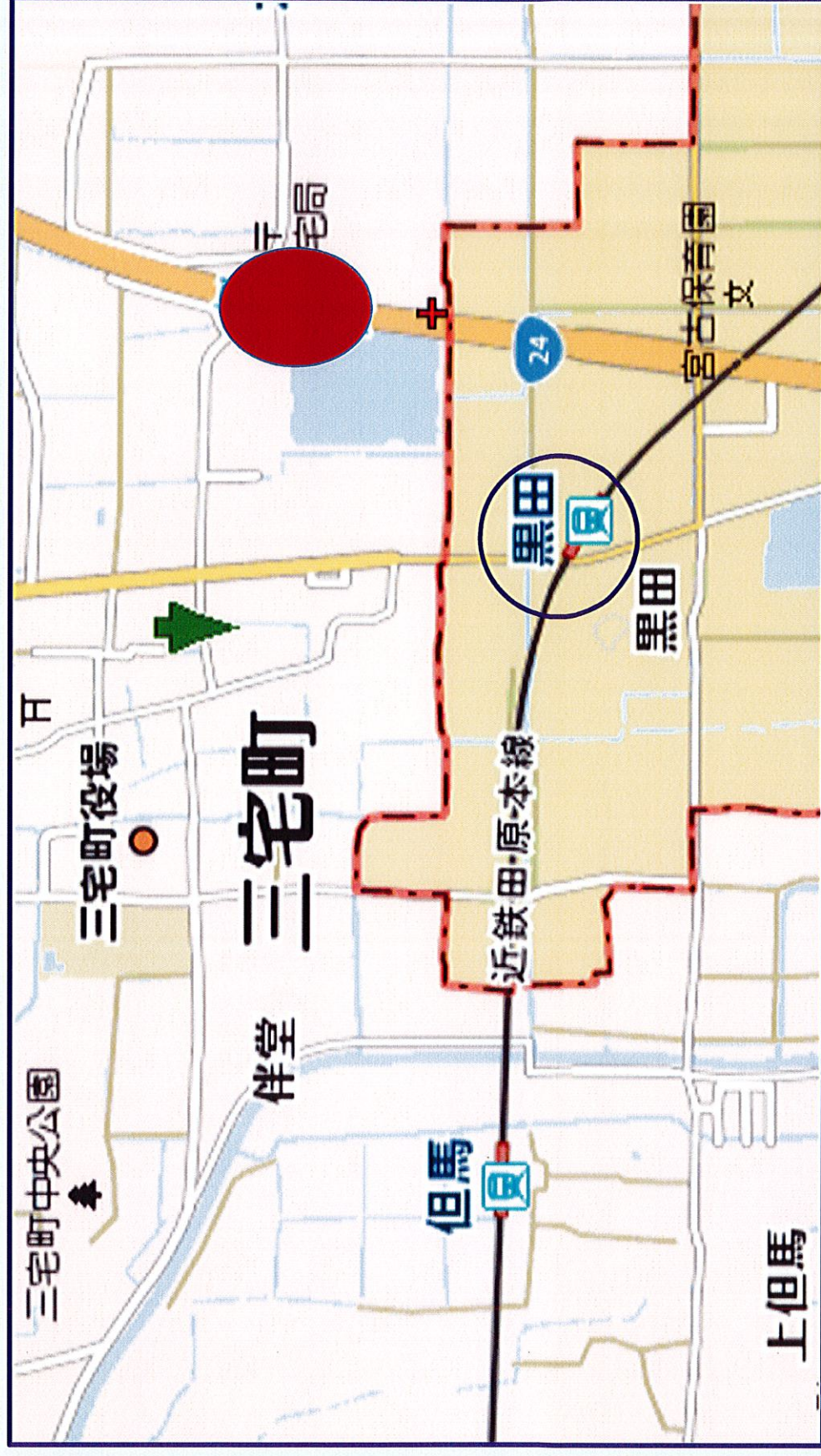
昭和7年5月5日 但馬駅 寺川駅開業

昭和19年1月11日 田原本・桜井間営業休止

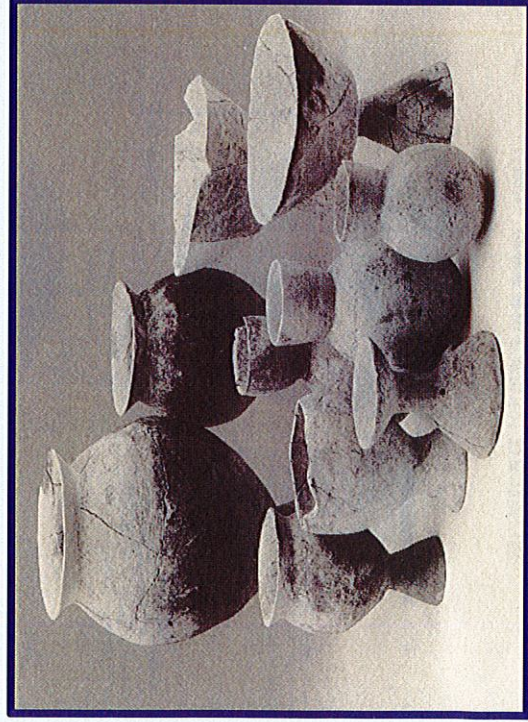


3世紀後半～4世紀半ば

伴堂東遺跡



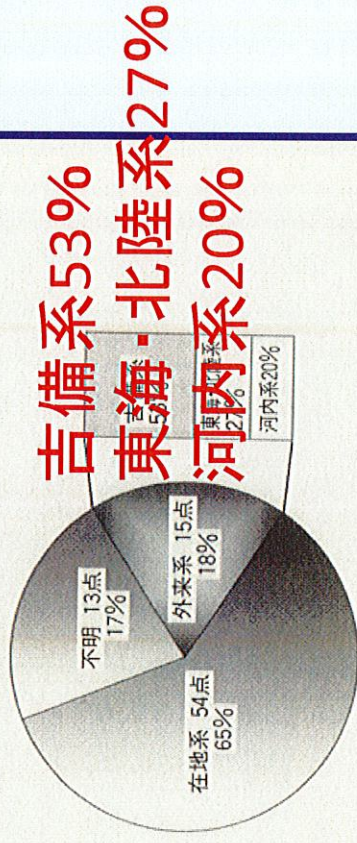
3世紀後半～4世紀 半ば



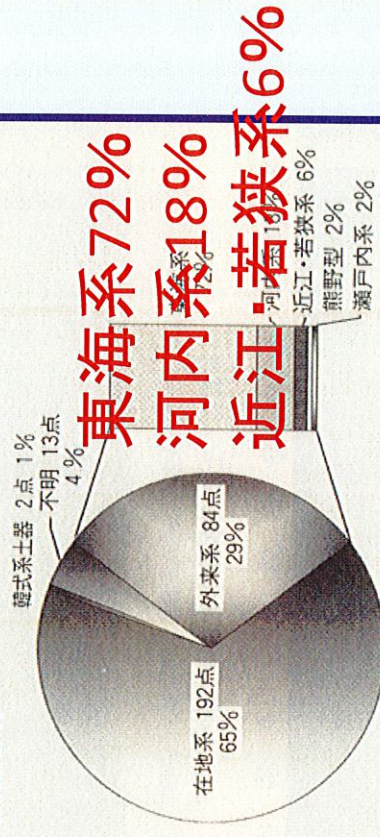
土坑SK2480Kの東海系土器 伴堂東遺跡土坑出土 土器地域別内訳

(坂 靖 による)

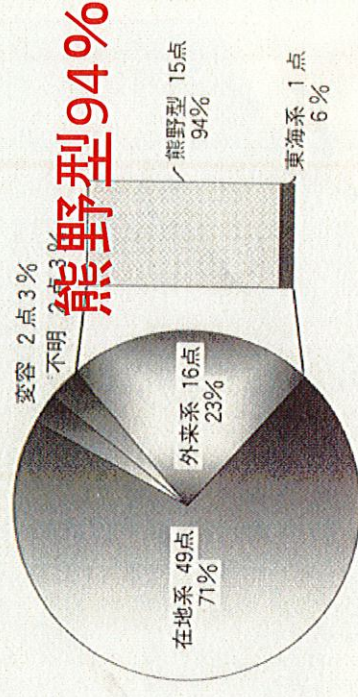
土坑SK2380



土坑SK2480



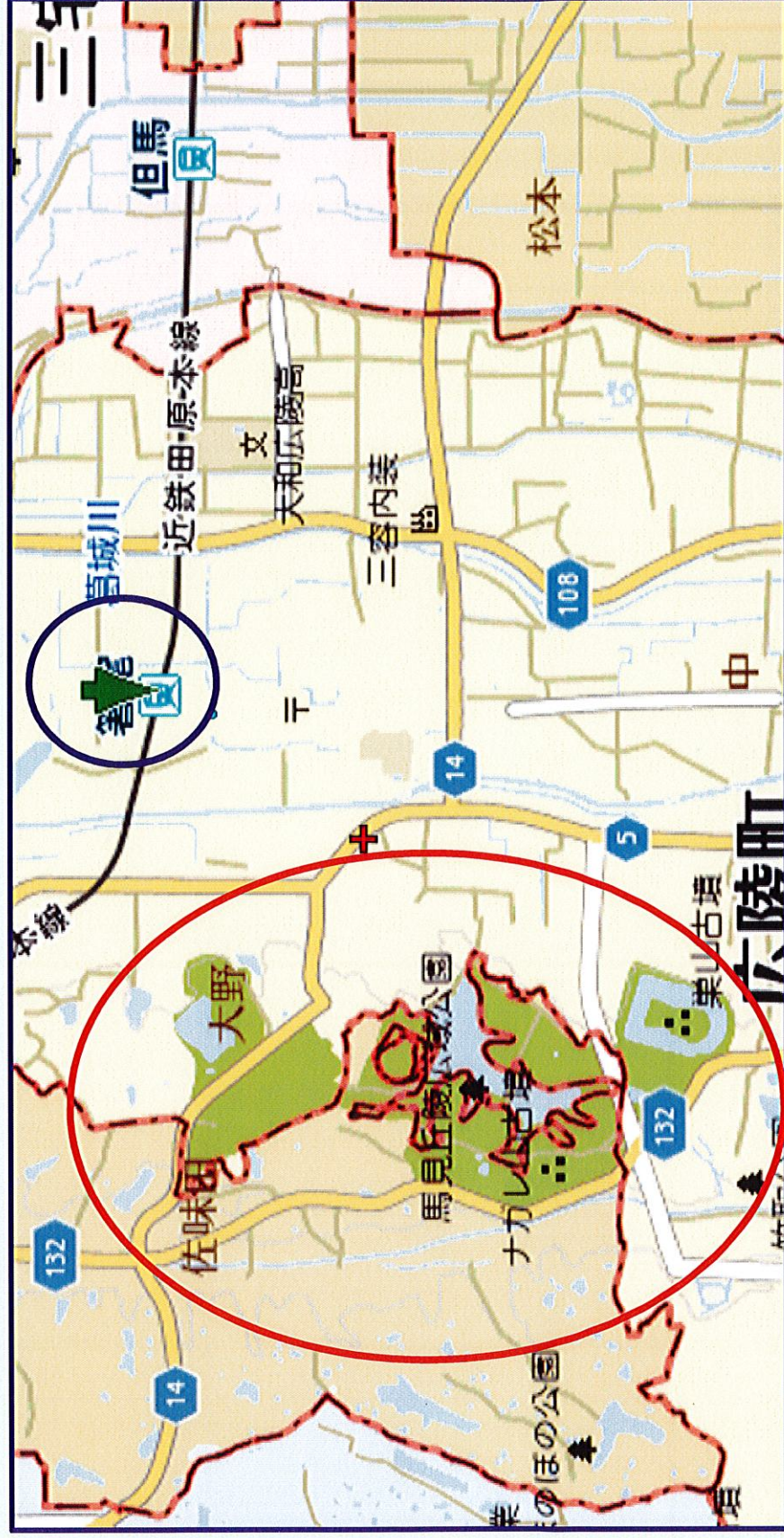
土坑SK3020



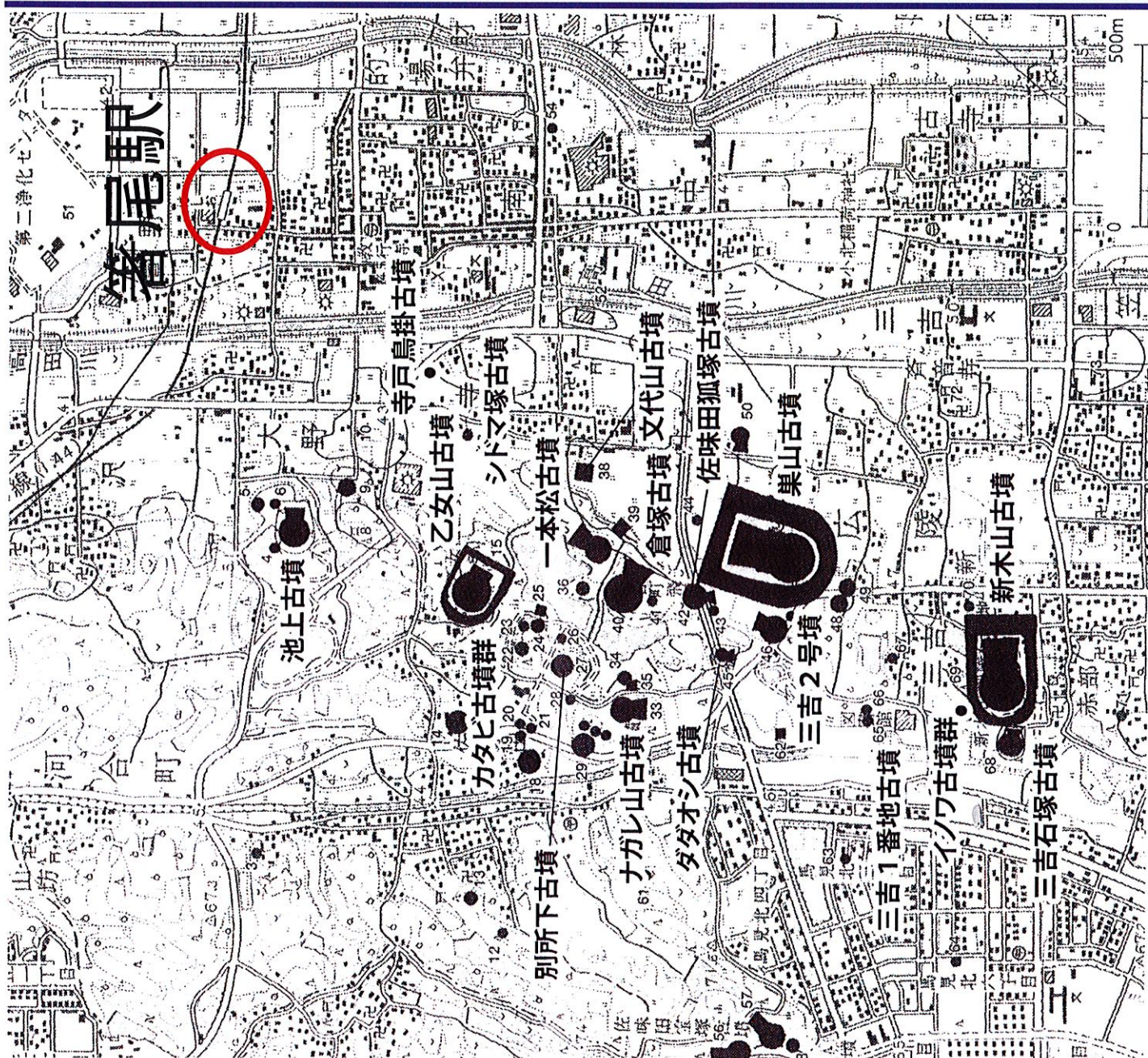
4世紀末—6世紀

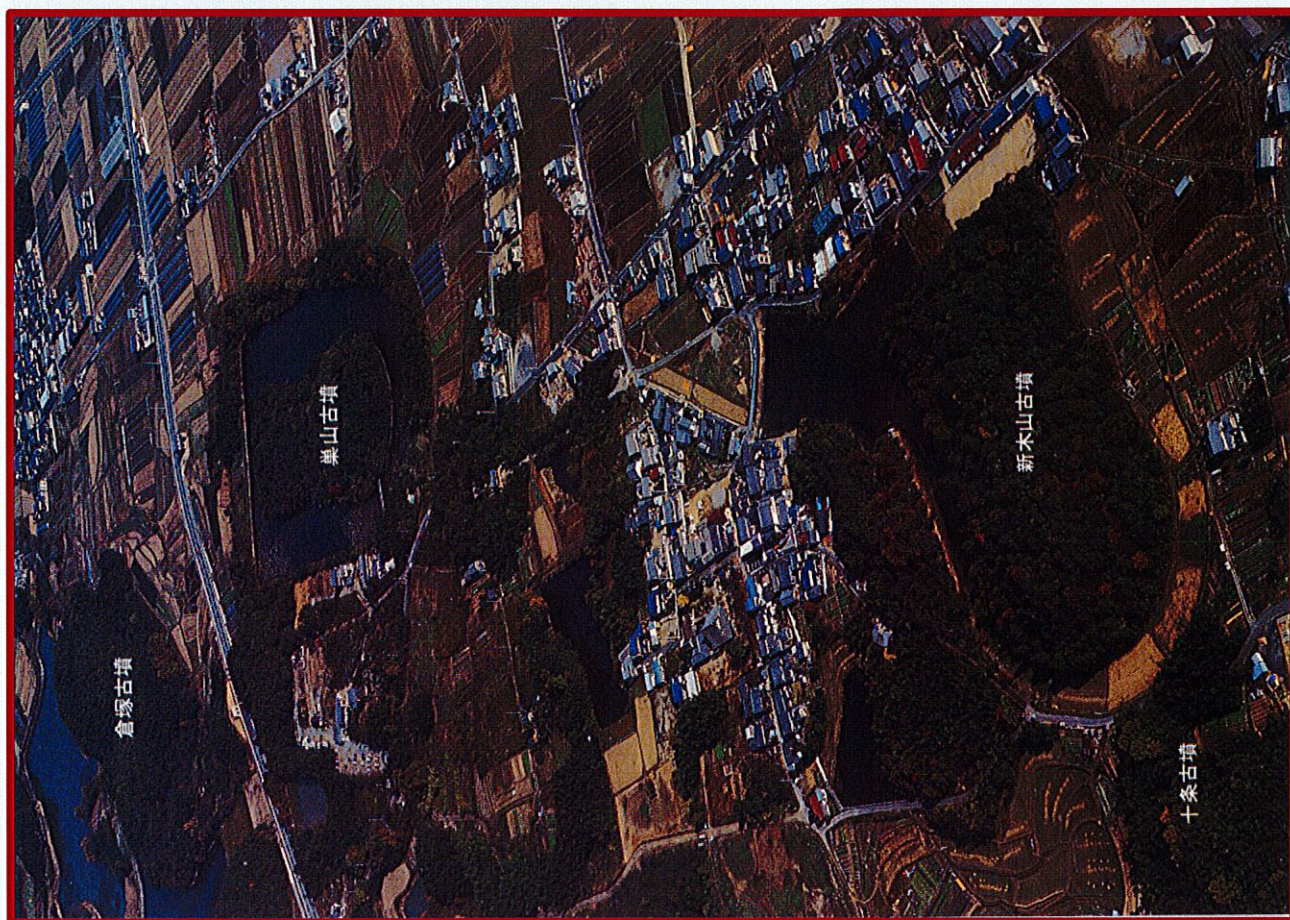
群填古見馬

馬尾簪



馬見古墳群





1. 築山古墳、新山(しんやま)古墳などをふくめた丘陵南端の地域

2. 巢山古墳、新木山(にきやま)古墳など、馬見丘陵でも最大規模の古墳を中心とした丘陵中央部の地域

3. 大塚山古墳群がきずかれている、曾我川、高田川と大和川が合流する低地の地域

巢山古墳

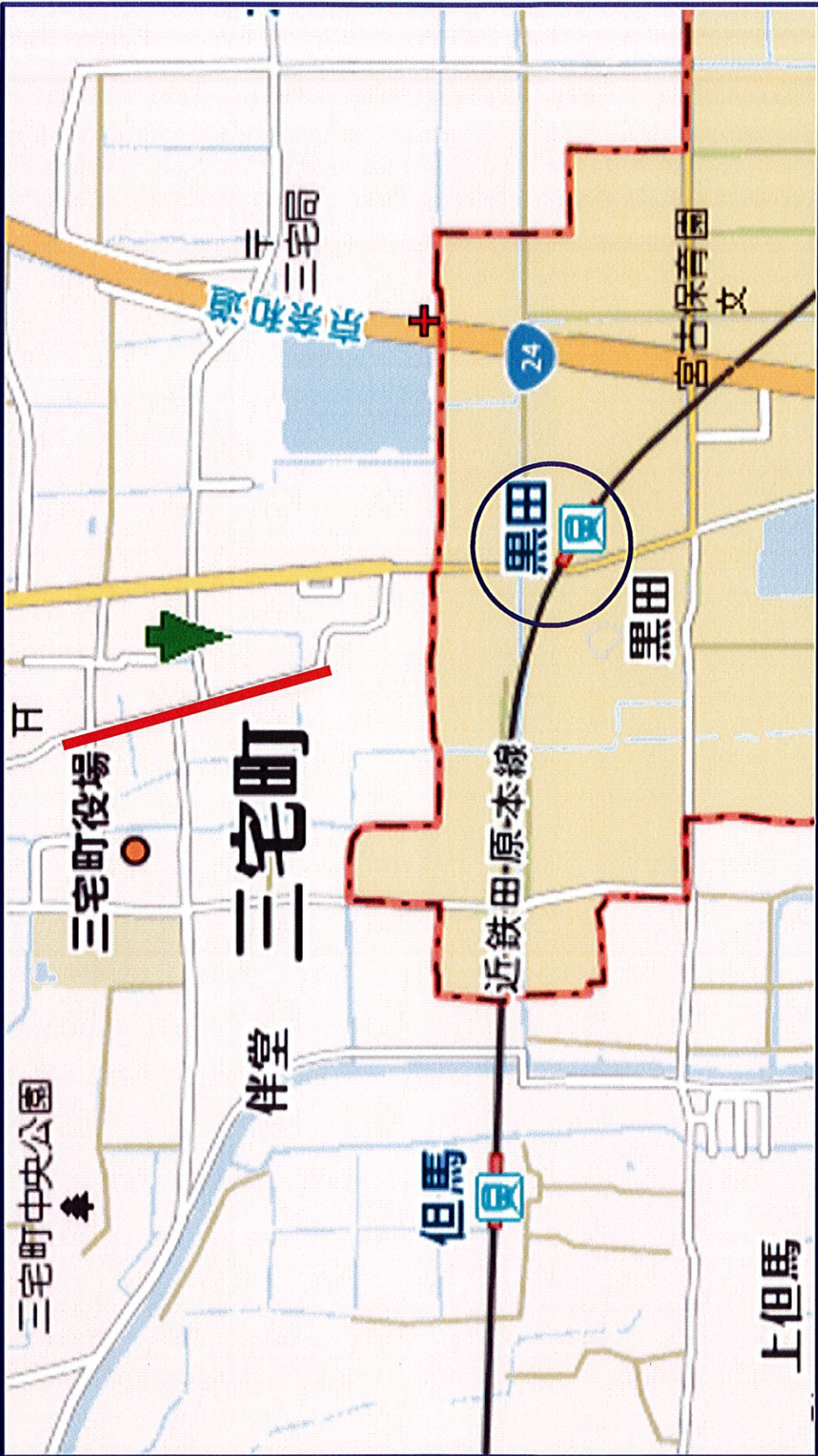
全長204メートル、後円部径110メートル、高さ25メートル、前方部幅94メートル、高さ21メートル。後円部の頂上は径45メートルの平坦な地形になっている。

佐味田宝塚古墳

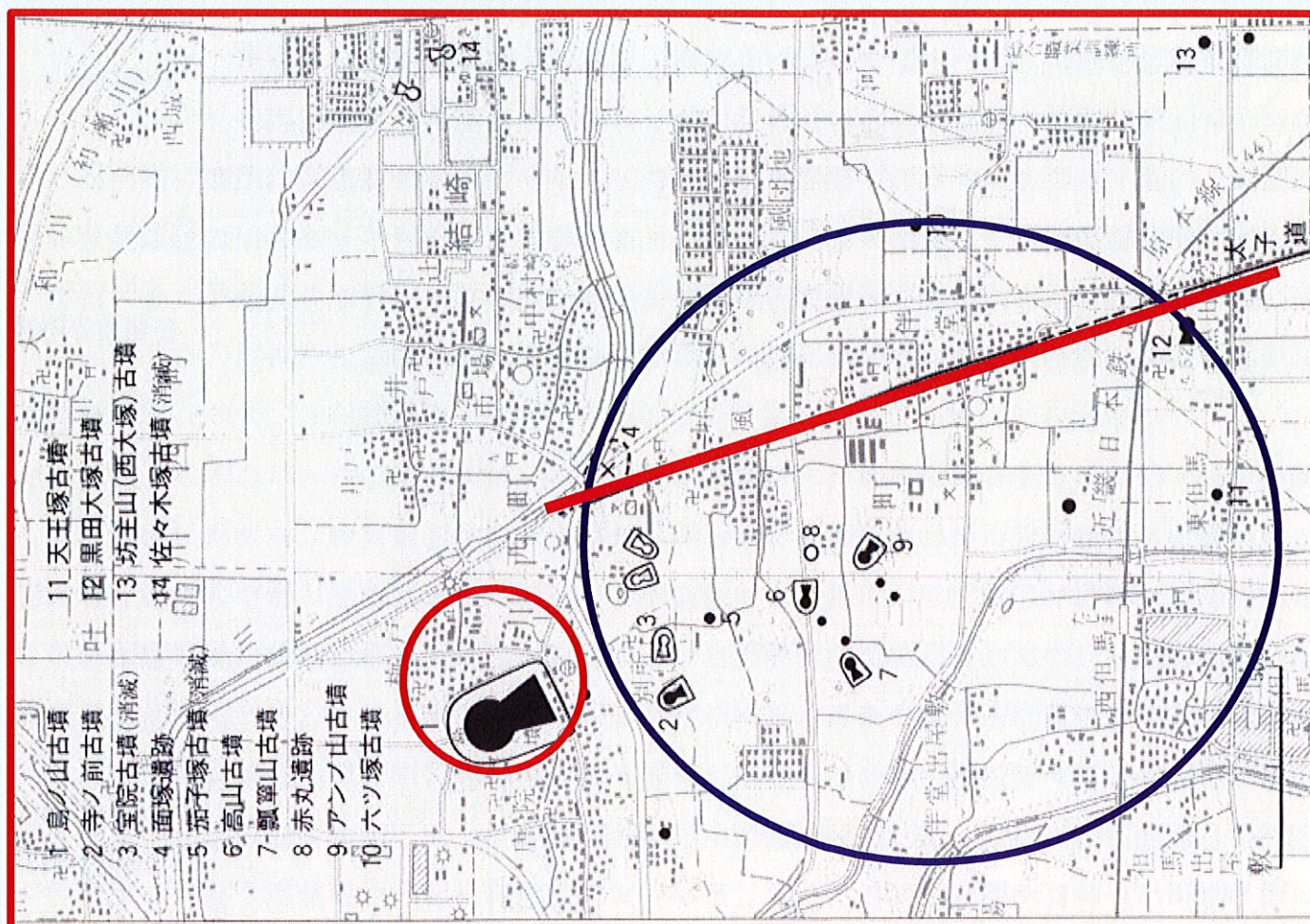
銅鏡は31面以上。10面を超える三角縁神兽鏡。
家屋文鏡等。

家屋文鏡





鷗の丘と鶴の丘と三日月の丘と



黒田大塚古墳



糸井神社 祭神
綾羽明神、冥羽明神

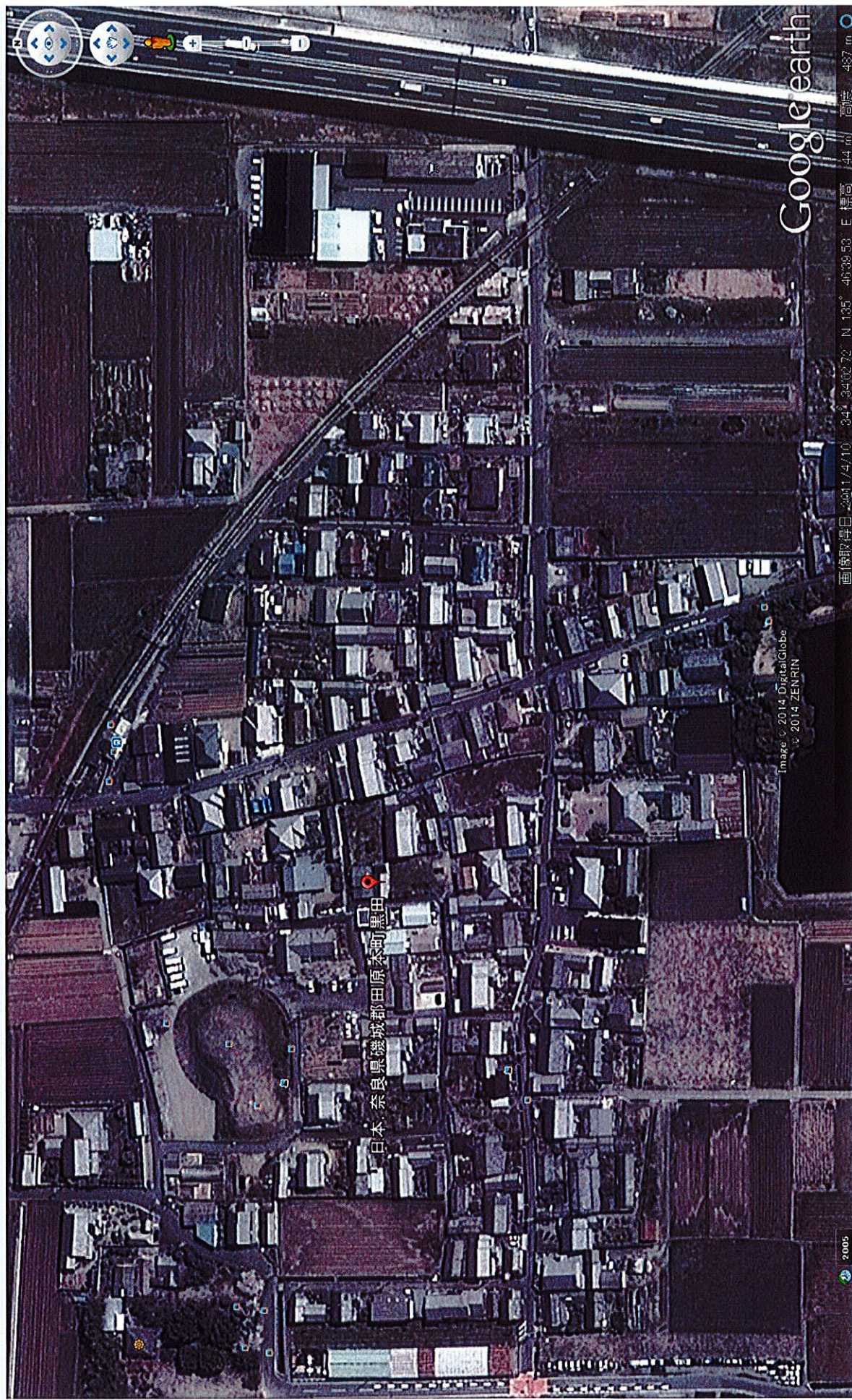
比売久波神社

糸井神社

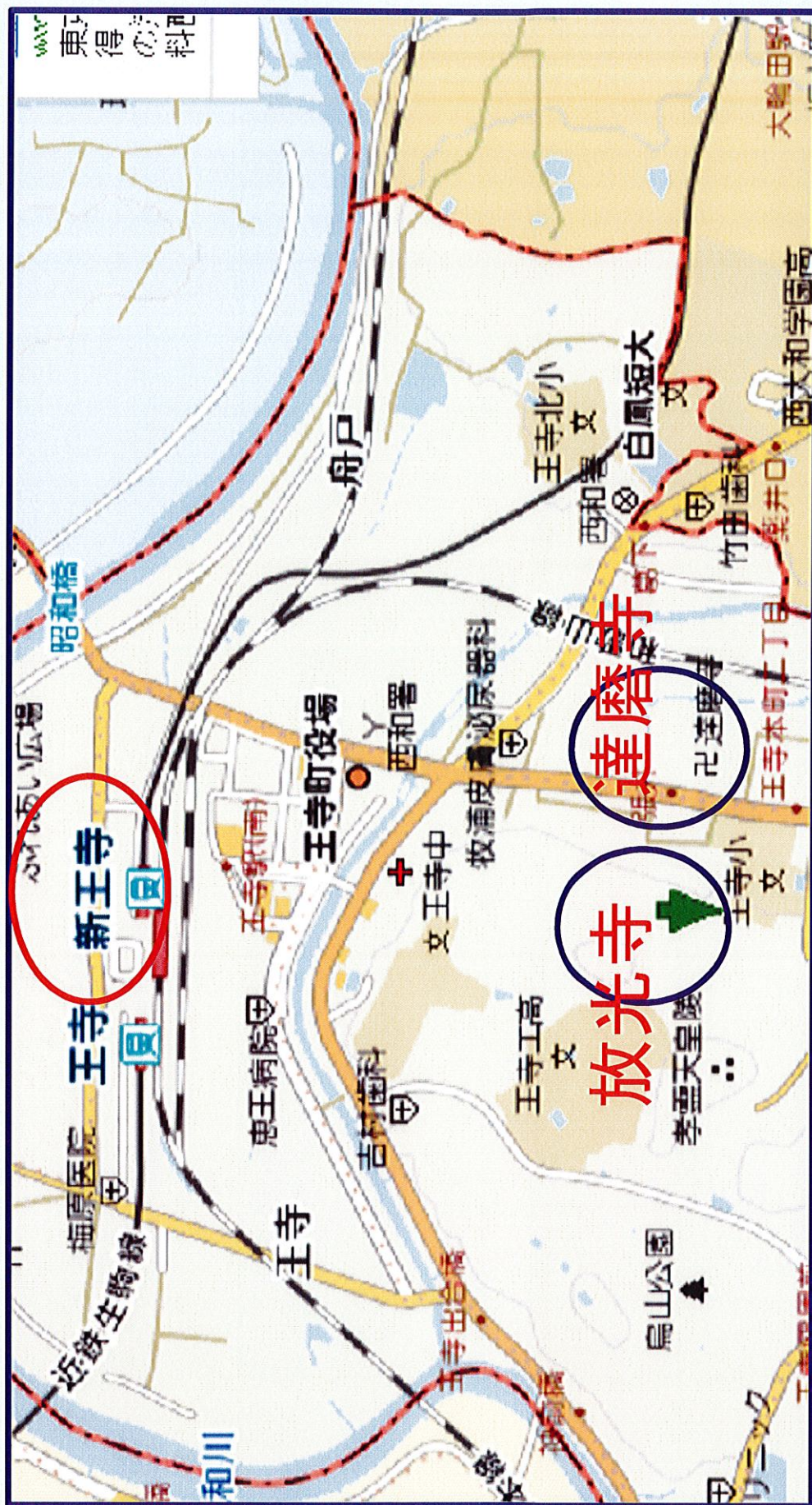


島の山古墳 4世紀末から5世紀初頭に築造





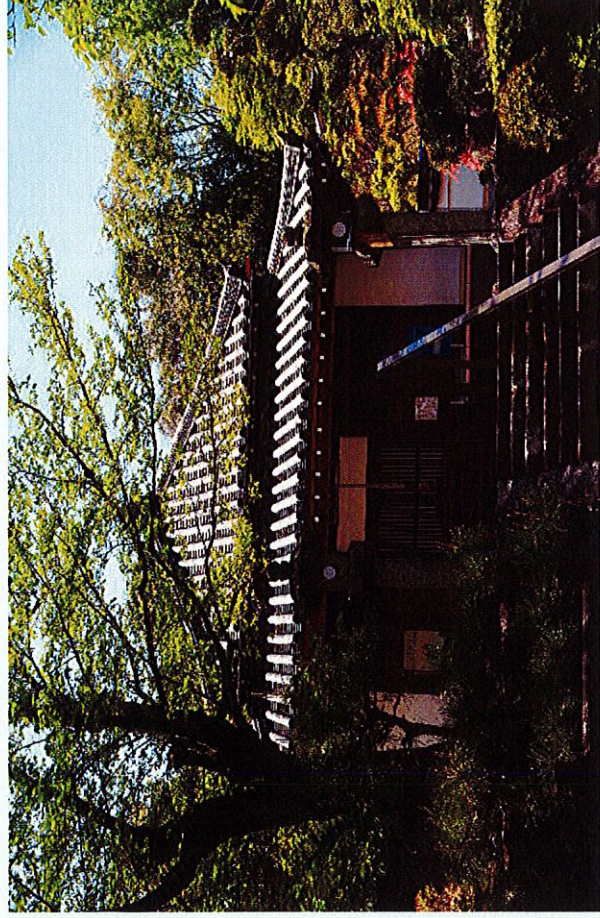
太子道 黒田駅付近



放光寺

かつての寺地は王寺小学校の敷地片岡僧寺また**片岡王寺**とも称せられ、聖徳太子建立伝承。

7世紀前半に敏達天皇系王族によって建立



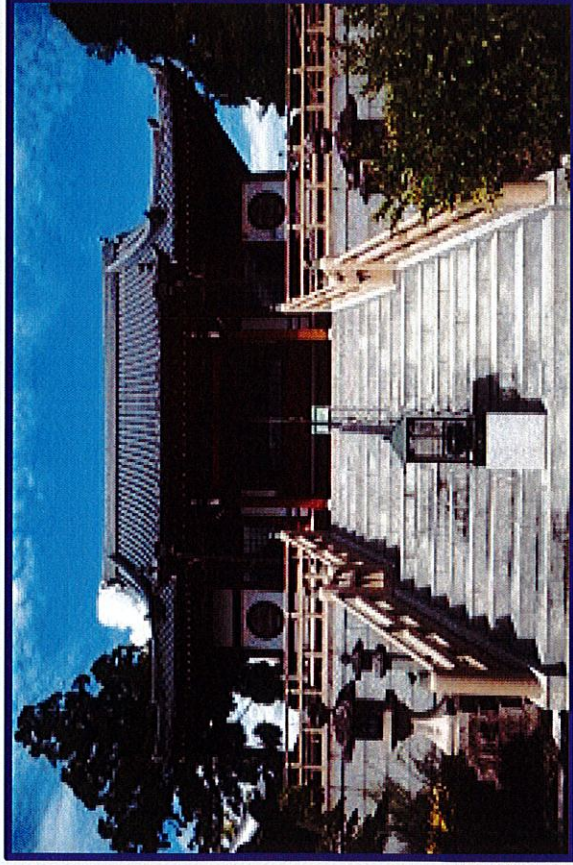
鎌倉時代



寺 百濟



達磨寺
聖徳太子の
片岡山飢人伝承に
よる。



しなてる片岡山に飯(いひ)に飢(ゑ)て臥(こや)せ
るその旅人(たびと)あはれ 親無しに汝(なれ)生
(な)りけめやさす竹の 君はや無き飯に飢て臥せる
その旅人あはれ。

戦国時代

田原本町 浄照寺 慶安4年(1651年)



教行寺 承応2年(1653年) 箸尾御坊
真宗大谷派



神社

龍田大社



広瀬神社



広瀬神社





鏡作神社





津島神社(田原本町)



西田原本駅



ご清聴ありがとうございました